

金沢区地域子育て支援拠点事業 5か年のまとめ 実施概要

対象事業	金沢区地域子育て支援拠点事業
対象期間	平成29年度～令和3年度
事業の実施者	公益社団法人 横浜YMCA
	金沢区こども家庭支援課
実施目的	<p>1 今期5か年の事業を振り返り、成果や課題、今後の方向性などを整理します。</p> <p>2 市民協働事業の実践を通じて経験を蓄積し、その後の市民協働や市民協働事業に活かしていくため、また、当該協働事業の当事者だけでなく、多くの市民等の協働への参加意欲を高めるため、当該評価を公開し、透明性を高めます。</p>
実施時期	令和3年7月
実施について	<p>拠点事業は、区と運営法人との協働により進めています。</p> <p>毎年度、事業ごとに定めている「目指す拠点の姿」に沿って役割分担し、行動計画を立て、年度末には「振り返りの視点」に沿って取組の振り返りを行いながら事業を進めてきました。また、中間期には「有識者を交えた事業評価」を実施し、事業の運営・管理にフィードバックして拠点運営状況の向上を図っています。</p> <p>今回は、中間期に行った「有識者を交えた事業評価」にその後の事業振り返りを加え、今期5か年のまとめとしました。</p> <p>【参考】 拠点の7事業</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 乳幼児の遊びと育ちの場及びその養育者の交流の場の提供(親子の居場所事業) 2 子育てに関する相談及び関係機関との連携に関すること(子育て相談事業) 3 子育てに関する情報の収集及び提供に関すること(情報収集・提供事業) 4 子育てに関する支援活動を行う者同士の連携に関すること(ネットワーク事業) 5 子育てに関する支援活動を行う者の育成、支援に関すること(人材育成、活動支援事業) 6 地域の住民同士で子どもを預け、預かる支え合いの促進に関すること (横浜子育てサポートシステム区支部事務局運営事業) 7 子育て家庭のニーズに応じた施設・事業等の利用の支援に関すること(利用者支援事業)

協働事業プロセス相互検証シート

1 事業計画段階

【共有できたことや認識に違いがあったこと】

- ・計画段階で相互の役割を確認し、目標を共有しながら事業計画を作成することができている。
- ・事業を進めるにあたり、区が提供できる情報を提示し、連携しやすい環境である。
- ・年度の振り返りの時期に課題を共有し、次年度の計画策定に役立てることができている。

【今後改善が必要と思われること】

- ・子育て世代を取り巻く環境について共有した上で、事業計画をたてていく必要がある。

2 事業実施段階

【共有できたことや認識に違いがあったこと】

- ・毎月の定例会で事業の実績などは共有されている。
- ・事業ごとの定例会に区の職員も参加し、細かく情報共有ができている。
- ・懸案事項がある場合は、速やかな連絡・相談体制を取とり、拠点と区が一丸となって対応できている。
- ・拠点事業や区の事業にお互いが参加し、協力しあう関係が出来ている。

【今後改善が必要と思われること】

- ・年度内に行う事業については、事業の進捗に応じて目標達成できるスケジュール管理が重要である。
- ・実施している事業について、より市民に発信していく必要がある。

3 事業の振り返り段階

【共有できたことや認識に違いがあったこと】

- ・2期目振り返りの時点では、相談を受けた課題のある利用者を区につなぐ事が出来ていなかった。つなぎ方に拠点と区で認識の違いがあった。法人変更に伴い、区と拠点とで相談者の連携についてルール化した事で、状況が改善し、毎月定期的に情報共有ができるようになった。

【今後改善が必要と思われること】

- ・単年度のアンケートの分析は行ったが、経年比較はできていなかったため、長期的な視野で拠点利用者の傾向の把握に努める必要がある。